

6. 区域別のようす ① 北千里区域

概要

この区域は、3ブロックに分かれています。

①千里緑地(青山台～箕面市の境界緑地)

樹林が生長して暗い林のところと、里山林の残っているところがあります。全体に自然度が高いのが特徴です。

②千里北公園

他には見られないオギやススキの草原、広々とした広い芝生、体育館、野外活動施設などの他、ため池などもあります。昔からの竹林や林も多く、大勢の人がやってきました。

③苗圃

苗圃とは、公園などに植える花や木を育てる畑のことです。今は人の利用は少なく、木々がすっかり生長して、巨木がたくさんあります。市内で最も自然豊かで緑の濃い場所の1つです。市民ボランティアが入って手入れしています。

哺乳類

全4目 5科 6種(うち現地 3目 4科 5種)※
コウベモグラ、モグラ属の一種、アブラコウモリ、タヌキ、イタチ属の一種

鳥類

全13目 32科 68種(うち現地 11目 29科 61種)
水域の鳥：カイツブリ、カワウ、サギ類(ゴイサギ、ダイサギ、アオサギ)、カモ類(カルガモ、ヨシガモ、オカヨシガモ、オナガガモ、ハシビロガモ、ホシハジロ、キンクロハジロ)、バン、カワセミ、キセキレイなど
草地などに生息する鳥：キジ、チョウゲンボウ、コシアカツバメなど
樹林などに生息する鳥：オオタカ、コジユケイ、サンショウクイ、カヤクグリ、メボソムシクイ、センダイムシクイ、キビタキ、オオルリ、カケスなど



キンクロハジロ



千里北公園

凡例	
A常緑広葉樹林	E落葉針葉樹林
A1クスノキ林	E1ヌマスギ・メタセコイア林
A2シイ林	E2その他の針葉樹林
A3アラカシ林	F竹林
A4その他の常緑広葉樹林	F1竹林
B常緑針葉樹林	F2タケ・広葉樹混交林
B1クロマツ林	F3タケ・針葉樹混交林
B2アカマツ林	F4タケ・針葉広葉樹混交林
B3スギ・ヒノキ林	G草地
B4その他の常緑針葉樹林	G1シバ地
C常緑落葉混交林	G2ネザサ草地
C1アカマツ・コナラ林	G3低草草本草地
C2常緑針葉・落葉針葉混交林	G4高草草本草地
C3コナラ・アラカシ林	G5ヨシ原
C4その他の常緑落葉混交林	G6ガマ草地
D落葉広葉樹林	G7その他の草地
D0その他の落葉広葉樹林	H浮遊植物
D1コナラ・アベマキ林	Iマント群落
D2サクラ林	その他
D3ケヤキ林	J1畑地
D4ポプラ林	J2水田
D5ハリエンジュ林	J3果樹園
D6プラタナス林	J4庭園
D7フウ林	K裸地
D8トウカエデ林	L開放水面
D9エノキ・ムクノキ林	行政界
	調査範囲



両生類・爬虫類

全3目 8科 10種(うち現地 3目 8科 9種)
ニホンアマガエル、ウシガエル、ヌマガエル、モリアオガエル、ミシシッピアカミミガメ、ニホンヤモリ、ニホントカゲ、ニホンカナヘビ、シマヘビ

(※全は現地調査と文献を含む。以下すべて同じ)



コクワガタ



シマヘビ

昆虫類



ウメエダシャク



ヒメウラナミジャノメ



モノサシトンボ

全 11 目 120 科 430 種 (うち現地 11 目 120 科 423 種)

マツムシ、カンタン、ショウリョウバッタモドキ、ヤブキリ、クロシデムシ、マイマイカブリ、カブトムシ、コヤマトンボ、ミズイロオナガシジミ、アカシジミ、コガネムシの仲間、ハヤシクロヤマアリなど



コナラ

植物相

全 124 科 564 種 (うち現地 123 科 540 種)
(以下、ブロック別にまとめました)

①青山台

箕面市域との境目を成す斜面地です。アカマツ林の名残やシイ類、カシ類の林などが主なものです。

シダ類：ワラビ、イノモトソウ、ナガバヤブソテツ、ベニシダ、マメヅタなど

園芸種：イチヨウ、クロマツなど

里山林：アカマツ、ヒノキ、ネズ、ハンノキ、イヌシデ、ムクノキ、ヤブニツケイ、ヤマコウバシ、カマツカ、イヌザクラ、ヤマザクラ、リンボク、カスミザクラ、ハゼノキ、ヤマハゼなど

②千里北公園

千里北公園の特徴はとにかく広いことです。いろいろな草の刈り方をしているため、さまざまなイネ科草本群落分布しています。全体に帰化植物が多く比較的新しい緑地の特徴を示していますが、一方でススキ群落、オギ群落など昔からの草本もみられます。(希少種)モクゲンジ、ギンランなど

シダ類：ゼンマイ、ウラジロ、ワラビ、オオカナワラビ、オオイタチシダ、オクマワラビ、ヤマイタチシダ、ヘビノネゴザ、シケシダ、マメヅタなど

草地等：ウマノアシガタ、ノアザミ、ハナビゼキシショウ、トダシバ、ノガリヤス、オギ、ススキなど

園芸種：ソテツ、イチヨウ、ヒマラヤスギ、クロマツ、コウヨウザン、メタセコイア、ラクウショウ、ヒノキ、カイノキ (別名カイまたは爛心木 (ランシンボク))、シナサワグルミなど

ボブラの仲間：カロリナボブラ、セイヨウハコヤナギ、ヤマナラシなど

里山林：アカマツ、ツブラジイ、ハネミイヌエンジュなど

外来野生種：シロバナマンテマ、ホソアオゲイトウなど

③苗圃 (水遠池北西～南側の一帯)

水遠池南側の緑地内の一部が水湿地となっており、水湿地周辺には、比較的シダの種類が多く見られます。

シダ類：フユノハナワラビ、ゼンマイ、ウラジロ、リョウメンシダ、ホソバヤマヤブソテツ、トウゴクシダ、ゲジゲジシダ、コハシゴシダなど

昔の農耕地や里山の名残：ウツバミソウ、ボタンヅル、ウツギ、ガクアジサイ、ノダケ、スノキ、ミズ、フレモコウ、ツリガネニンジン、ノアザミ、リュウノウギク、ハキダメギク、スズメノヒエなど

外来種：ホシアサガオ、タカサゴユリ、タクトアゼナ

湿地性：ミズユキノシタ、クグガヤツリ、ホソミンクガヤツリ、アゼガヤツリ、コアゼガヤツリなど

植物群落

ここには市内でもっとも多様な植物群落があります。特に、アカマツ群落、ツブラジイ群落、広いススキ群落、オギ群落 (背丈・面積ともに市内最大規模) といった昔からと思われる群落が今も残っています。また、カゼクサ群落、タチスズメノヒエ群落、チガヤ群落、チカラシバ群落などの広大なイネ科草本群落の草原ができていても、他の区域には見られない特徴です。

